



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年6月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社キリン堂

コード番号 2660 URL <http://www.kirindo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺西 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 井村 登

TEL 06-6394-0039

四半期報告書提出予定日 平成26年6月26日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年2月16日～平成26年5月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	25,380	3.5	292	△2.3	395	4.9	126	△15.8
26年2月期第1四半期	24,514	1.5	299	83.6	377	55.2	150	△58.8

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 119百万円 (△35.4%) 26年2月期第1四半期 185百万円 (△50.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	11.14	—
26年2月期第1四半期	13.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	43,100	11,808	27.1
26年2月期	42,555	11,802	27.4

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 11,672百万円 26年2月期 11,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 27年2月期の配当予想につきましては、次ページの「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」項番2をご覧ください。

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年2月16日～平成27年2月15日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	53,900	4.1	880	1.1	1,090	2.9	420	△8.1	37.07
通期	107,800	4.6	2,190	20.3	2,630	15.2	970	2.9	85.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	11,332,206 株	26年2月期	11,332,206 株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	1,126 株	26年2月期	1,126 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	11,331,080 株	26年2月期1Q	11,331,120 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 27年2月期の配当(予想)は、新設予定の株式会社キリン堂ホールディングスにて、1株につき年間配当金20円(期末)を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策・金融政策により、企業業績の改善や雇用情勢の好転の動きが見られ、全体として緩やかな景気回復基調を継続しました。一方、4月に実施された消費税増税に向けた駆け込み需要とその後の反動減の影響等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属するドラッグストア業界におきましては、お客様の低価格志向・節約志向が継続する中、医薬品ネット販売解禁の動きを背景に、業種・業態を越えた競争の激化も相まって、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、「地域コミュニティの中核となるドラッグストアチェーン」の確立をスローガンに掲げ、商圈内のお客様にとって便利で買いやすい売場づくり、セルフメディケーションの受け皿となる「かかりつけ薬局」としての機能を高め充実させるなど、顧客第一主義の店づくりを推し進めております。さらに、業態間競争に勝ち抜く収益基盤の確立を図るため、経営効率改善に注力しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、BEAUNET CORPORATION LTD及び同社子会社3社を連結の範囲に含めることとなったため、海外における事業セグメントの区分を見直し、従来「小売事業」に区分していた事業の一部について「その他」へセグメントの変更を行っております。このため以下の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

<小売事業>

小売事業におきましては、既存店活性化を目的に、平成26年4月より導入した「新ポイントカード」の入会促進活動等に努めたほか、ヘルス&ビューティケア商品のカウンセリング販売、PB商品の積極的な展開と販売強化に努めてまいりました。

さらに、消費税増税前の駆け込み需要の寄与や、調剤部門の売上高が前年同期比8.5%増と順調に推移したことなどから増収となり、売上総利益率も前年同期に比べ改善いたしました。一方で販売費及び一般管理費も増加し、減益となりました。

出退店状況におきましては、当社がスーパードラッグストア1店舗を出店し、スーパードラッグストア2店舗を閉店した結果、当第1四半期連結会計期間末の当社グループ国内店舗数は、以下のとおり（合計326店舗）となりました。

	前期末	出店等	閉店	当第1四半期末
スーパードラッグストア	275	1	2	274
(内、調剤薬局併設型)	(28)	(-)	(-)	(28)
小型店	49	-	-	49
(内、調剤薬局併設型)	(5)	(-)	(-)	(5)
(内、調剤薬局)	(19)	(-)	(-)	(19)
その他	1	-	-	1
(内、調剤薬局併設型)	(1)	(-)	(-)	(1)
F C店	2	-	-	2
合計	327	1	2	326

この結果、小売事業の売上高は250億87百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は3億96百万円（同0.3%減）となりました。

<その他>

医療コンサルティング事業におきましては、連結子会社である株式会社ソシオンヘルスケアマネジメントが営む在宅医療サポート事業が堅調に推移いたしました。

卸売事業におきましては、販売促進に注力したものの、競争激化等の影響を受けました。

また、海外事業におきましては、前連結会計年度より連結子会社となったBEAUNET CORPORATION LTD及び同社子会社3社の売上寄与のほか、連結子会社である忠幸麒麟堂(常州)商貿有限公司が、前連結会計年度において中国に2店舗出店した結果、当第1四半期連結会計期間末の海外店舗数は、前年同四半期末比2店舗増の3店舗となりましたが、出店の先行費用が増加いたしました。

この結果、その他の売上高は2億92百万円(前年同期比104.2%増)、営業利益は3百万円(同76.3%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高253億80百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益2億92百万円(同2.3%減)、経常利益は3億95百万円(同4.9%増)、四半期純利益は1億26百万円(同15.8%減)となりました。

なお、当社は平成26年3月31日開催の取締役会において、平成26年8月18日(予定)を期日として、当社単独による株式移転により純粋持株会社(完全親会社)である「株式会社キリン堂ホールディングス」を設立することを決議し、平成26年5月13日開催の第56期定時株主総会において承認されたことを経て、持株会社体制に移行する予定であります。

これにより、当社は平成26年8月13日に上場廃止、「株式会社キリン堂ホールディングス」が同月18日に株式会社東京証券取引所第一部へ上場を行う予定であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億45百万円増加し、431億円となりました。これは主に、現金及び預金の増加などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億38百万円増加し、312億92百万円となりました。これは主に、短期借入金及び賞与引当金の増加などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、118億8百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が減少した一方で、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の連結業績予想につきましては、前回予想(平成26年3月31日に発表した平成27年2月期の連結業績予想)から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月15日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,756	6,287
受取手形及び売掛金	2,141	1,791
たな卸資産	12,799	13,177
その他	2,805	2,694
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	23,498	23,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,984	7,265
その他(純額)	1,528	1,595
有形固定資産合計	8,512	8,861
無形固定資産		
のれん	1,590	1,474
その他	262	259
無形固定資産合計	1,853	1,733
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,036	4,011
その他	5,087	5,000
貸倒引当金	△432	△453
投資その他の資産合計	8,691	8,558
固定資産合計	19,057	19,154
資産合計	42,555	43,100

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月15日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月15日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,071	12,701
電子記録債務	1,198	1,183
短期借入金	4,296	4,683
未払法人税等	806	308
賞与引当金	342	718
ポイント引当金	22	15
その他	2,225	2,677
流動負債合計	21,962	22,289
固定負債		
長期借入金	6,501	6,480
資産除去債務	1,057	1,062
その他	1,232	1,459
固定負債合計	8,790	9,002
負債合計	30,753	31,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,237	3,237
資本剰余金	3,223	3,223
利益剰余金	5,105	5,118
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,565	11,578
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73	68
為替換算調整勘定	38	25
その他の包括利益累計額合計	112	94
少数株主持分	124	135
純資産合計	11,802	11,808
負債純資産合計	42,555	43,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年5月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月16日 至平成26年5月15日)
売上高	24,514	25,380
売上原価	17,914	18,450
売上総利益	6,599	6,930
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	2,427	2,520
賞与引当金繰入額	366	372
賃借料	1,354	1,382
その他	2,151	2,362
販売費及び一般管理費合計	6,300	6,637
営業利益	299	292
営業外収益		
受取情報処理料	91	93
受取賃貸料	85	92
その他	50	63
営業外収益合計	228	249
営業外費用		
支払利息	33	25
賃貸費用	77	82
その他	39	37
営業外費用合計	150	145
経常利益	377	395
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	2	15
特別損失合計	4	15
税金等調整前四半期純利益	373	381
法人税、住民税及び事業税	353	284
法人税等調整額	△132	△41
法人税等合計	221	243
少数株主損益調整前四半期純利益	151	137
少数株主利益	1	11
四半期純利益	150	126

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年5月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月16日 至平成26年5月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151	137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	△5
為替換算調整勘定	7	△12
その他の包括利益合計	33	△17
四半期包括利益	185	119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183	108
少数株主に係る四半期包括利益	1	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年2月16日 至平成25年5月15日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業				
売上高					
外部顧客への売上高	24,370	143	24,514	—	24,514
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	140	140	△140	—
計	24,370	283	24,654	△140	24,514
セグメント利益	397	12	410	△111	299

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業、医療コンサルティング事業及び海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△111百万円には、セグメント間取引消去4百万円、のれんの償却額△109百万円及び営業権の償却額△5百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年2月16日 至平成26年5月15日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業				
売上高					
外部顧客への売上高	25,087	292	25,380	—	25,380
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	101	101	△101	—
計	25,087	394	25,482	△101	25,380
セグメント利益	396	3	399	△107	292

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業、医療コンサルティング事業及び海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△107百万円には、セグメント間取引消去13百万円、のれんの償却額△116百万円及び営業権の償却額△3百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、BEAUNET CORPORATION LTD及び同社子会社3社を連結の範囲に含めることとなったため、海外における事業セグメントの区分を見直し、従来「小売事業」に区分していた事業の一部について「その他」へセグメントの変更を行っております。なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

4. 補足情報

販売の状況

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月16日 至 平成26年5月15日)	対前年同四半期増減率 (%)
小売事業 (百万円)	25,087	2.9
その他 (百万円)	292	104.2
合計 (百万円)	25,380	3.5

- (注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。
 2. 前連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。
 3. 小売事業における品目別売上高は次のとおりであります。

区分		当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月16日 至 平成26年5月15日)		
		売上高 (百万円)	対前年同四半期 増減率 (%)	構成比 (%)
商品売上高	医薬品	4,823	0.3	19.3
	健康食品	1,088	△1.3	4.3
	化粧品	6,559	5.6	26.1
	育児用品	721	4.5	2.9
	雑貨等	9,585	1.4	38.2
	計	22,778	2.3	90.8
調剤売上高		2,199	8.5	8.8
その他		109	45.8	0.4
合計		25,087	2.9	100.0

(注) 小売事業の「その他」は、社員販売売上高等であります。